

みんなの議会



ともだち100人できるかな？（小学校入学式）

第1回定例会 で決めたこと	2～4ページ
いっばんしつもん	6～9ページ
町政・教育行政執行方針報告に対する質疑	10～12ページ
予算審査特別委員会	13～15ページ
わたしの一言・あとかぎ	16ページ

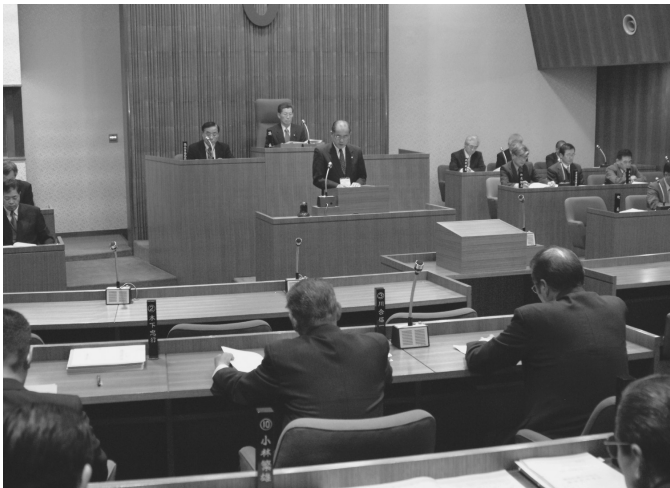
あったかす君



第1回定例会

「鷹栖町定住促進住宅建設条例」 など29議案を可決

平成19年度予算総額 80億7,788万3千円可決



第1回定例会は、3月8日から7日間の会期をもって開催されました。

町長の町政執行方針及び教育長の教育行政執行方針報告が行われ、その後4名の議員が一般質問を行い、町長・教育長の考えをたきました。

そのほか、専決事項2件、平成18年度4会計補正予算、条例の制定及び改正15件、平成19年度7会計予算などを審議し、原案のとおり議決しました。

その後、議員発議により鷹栖町議会委員会条例の改正を行い、3常任委員会を2常任委員会としました。

条例

●上川教育研修センター組合規約

地方自治法の改正により、「助役及び収入役」を「副組合長及び会計管理者」に、「旭川市助役及び同市収入役」を「旭川市副市長及び同市会計管理者」に変更しました。

●鷹栖町定住促進住宅建設条例
定住人口の増加を図ることを目的とし、町内に賃貸住宅を建設する個人または法人に対して助成措置を行う条例を新しく定めました。

●鷹栖町農産加工センター施設整備基金条例
鷹栖町農産加工センターの機械設備等の更新や整備に必要な財源にあてるための基金を設置する条例を新しく決めました。

●鷹栖町課設置条例
地方自治法の改正により、収入役を廃止し、会計管理者を置くものとされたため、条文中の「出納室」を削除する改正をしました。

なお、規則により、会計管理者の補助組織としての出納室を位置付けています。

●鷹栖町職員の勤務時間、休暇等に関する条例
鷹栖町職員の勤務時間を1日8時間とし、休憩時間を廃止する改正をしました。また、早出遅出勤務に係る対象範囲を追加する改正をしました。

勤務時間 8時間
休憩時間 8時30分～17時15分
・ 休憩時間（昼休み）45分間
・ 12時15分～13時

●鷹栖町職員の給与に関する条例
鷹栖町職員の扶養手当について、第3子以降5千円を6千円とする改正をしました。

●鷹栖町ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例
学校教育法の改正により、条文中「盲学校、ろう学校又は養護学校」を「特別支援学校」に改正しました。

●鷹栖町修学資金貸付条例
貸付けの範囲を、「大学教育修了前の者」から「大学院教育修了前の者」に拡大する改正をしました。

●鷹栖町廃棄物の処理及び清掃に関する条例
「生活環境影響調査の結果の縦覧等の対象施設」「縦覧」「意見書の提出」について追加する改正をしました。

「生活環境影響調査の結果の縦覧等の対象施設」「縦覧」「意見書の提出」について追加する改正をしました。

●鷹栖町農業振興対策協議会条例

委員定数を18名から20名とし、役員に鷹栖町地域農業推進協議会長及び副会長を追加する改正をしました。

●鷹栖町農産加工センター設置条例

農産加工センターの維持経費や機械設備等の更新費用にあてるため、利用料金の改正をしました。

・ジューズ類の加工 15円増 (160円↓175円)

●鷹栖町水道、下水道使用料の助成に関する条例

条文中「グループホーム」の定義を「障害者自立支援法に定める「共同生活介護」(ケアホーム)及び「共同生活援助」(グループホーム)事業を行う施設」に改正しました。

●鷹栖町議会委員会条例

議員発議により、常任委員会の名称・定数及びその所管について改正しました。

施行期日は平成19年5月2日からとなります。

・総務文教常任委員会 6人 (所管)

総務課・企画課・税務課
出納室・教育委員会
消防・選挙管理委員会

監査委員

・経済福祉常任委員会 6人 (所管)

町民課・保健福祉課
農政課・建設水道課
農業委員会

●鷹栖町税条例

●鷹栖町都市計画税条例

●鷹栖町国民健康保険税条例

各種税金について、1回あたりの納入合計額の軽減や納入しやすい納期となるよう、次のとおり改正しました。

改正後の納期 (平成19年度から)

納付月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
町道民税			○		○		○		○			
固定資産税 都市計画税		○		○		○		○				
軽自動車税		○										
国民健康保険税			○	○	○	○	○	○	○	○		

補正予算

◆一般会計

歳入歳出予算を7,309万円減額し、予算総額42億7,867万3千円になります。

主な補正の内容は次のとおりです。

- ・総務費 △1,107万円
- ・民生費 △3,909万円
- ・衛生費 △3,635万円
- ・農林費 2,511万円
- ・商工費 △12万円
- ・土木費 △1,126万円
- ・消防費 36万円
- ・教育費 △67万円

◆介護保険特別会計

歳入歳出予算を4,032万7千円減額し、予算総額5億3,003万6千円になります。

補正の内容は、事業完了見込みによる減額補正です。

◆公共下水道事業特別会計

歳入歳出予算を52万7千円減額し、予算総額2億7,086万円になります。

補正の内容は、事業完了見込みによる減額補正です。

◆水道事業会計

収益的支出では9440万円減額し、総額2億1,775万9千円になります。

千円になります。
資本的支出では7万6千円増額し、総額1億7,506万円になります。

補正の内容は、企業債償還金の増額補正です。

その他

■町道の廃止

ほ場整備事業により造成された道路(21線16号内農道2線)を、担い手育成基盤整備事業の区画整理のため廃止するものです。

■土地の取得

次の土地を町有林用地として取得することを議決しました。

- ・所在地 上川郡鷹栖町1114番1
- ・面積 ほか221筆
- ・所有者 2,788,157・13㎡

大阪府大阪市中央区
南本町1丁目6番20号

大陽興産株式会社

取得価格 3,000万円

■専決処分承認

平成18年度の歳入歳出予算について55万4千円を追加し、予算総額43億5,112万6千円

とする専決処分の報告があり、承認しました。

・一般会計（専決第2号）

平成18年度の歳入歳出予算について63万7千円を追加し、予算総額43億5,176万3千円とする専決処分の報告があり、承認しました。

専決事項の内容は、いずれも中学生の大会等参加負担補助金の補正です。

■特別委員会審査報告

平成15年第3回定例会において設置した市町村合併調査特別委員会に付託された案件について報告がなされました。

（報告の要旨）

平成15年12月に、合併特例法期限内（平成17年3月）での周辺市町村との枠組みで合併はしないとすると中間報告がなされ、その後においても継続して調査研究を行ってきたが、合併新法・道州制・広域連携及び支庁の再編成問題等、社会情勢がめまぐるしく変化する中、結論を出すには至っていない状況にある。

次の議会構成においても再度特別委員会を設置し、継続して調査研究を行い、議会として一定の方向を出す必要がある。

新年度予算

平成19年度予算について、議員全員による予算審査特別委員会の審議を経て、総額80億7,788万3千円を原案のとおり可決しました。

（質疑13／15ページ参照）

平成19年度各会計予算額

会 計 名	予算額 (千円)	対前年度伸長率 (%)	
一 般 会 計	5,104,000	17.4	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)特別会計	819,502	12.5
	老人保健特別会計	923,407	△2.2
	介護保険特別会計	554,251	1.0
	公共下水道事業特別会計	280,989	4.1
	公平委員会特別会計	12,139	1.8
企業会計	水道事業会計	383,595	△0.2
合 計	8,077,883	11.7	

■まちづくり講演会及びゼミナールの開催

鷹栖町の「行財政改革“や”協働のまちづくり”など、自主・自立のまちづくりをより一層推進するため、鷹栖町と鷹栖町議会議員会共催による講演会を次のとおり開催しました。

まちづくり講演会

平成19年3月11日

「地方分権時代のまちづくり」

北海学園大学法学部教授

横山純一氏

まちづくりゼミナール

平成18年9月5日

「将来元気の源は……」

北海道医療大学講師

岩見太市氏

平成18年12月26日

「身近なりサイクルのはなし」

兵庫県立大学

環境人間学部講師

横山孝雄氏

平成19年3月1日

「住民主体の地域づくり入門」

北海道NPO

サポートセンター事務局

小林董信氏

平成19年3月19日

「地域の食材にこだわりを」

きやりあ工房代表

田崎悦子氏

第1回 臨時会

3月30日



◆一般会計



歳入歳出予算に501万6千円を追加し、予算総額42億8,368万9千円になります。補正の内容は、老人保健特別会計繰出金の増額及び道営事業の確定による分担金の減額です。

◆国民健康保険特別会計
療養給付費の増加により、1,500万1千円を追加し、予算総額8億4,733万6千円になります。



まちづくり講演会のようす

◆老人保健特別会計

医療給付費の減少により2千万円を減額し、総額9億3,631万1千円になります。

歳入では、支払基金交付金及び国庫補助金等が減少し、一般会計繰入金が増加しました。

◆介護保険特別会計

介護保険システム改修事業は、国からの改修内容の提示が平成19年度までかかることから、経費を翌年度に繰り越し執行するために予算を補正しました。

条例

●鷹栖町国民健康保険税条例

地方税法施行令の改正により、国民健康保険税の課税限度額を53万円から56万円に改正し、あわせて、納期ごとの納付に係る端数処理を千円単位から百円単位に変更しました。

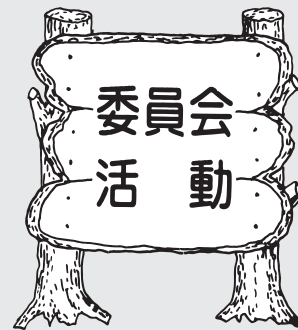
●鷹栖町健康づくり推進協議会条例

協議会委員の定数を13名以内から12名以内とし、町議会議員からの選出委員を1名以内とする改正をしました。

●鷹栖町農業振興対策協議会条例

町議会常任委員会の名称変更に伴い、協議会役員の選出組織

の名称を変更し、あわせて委員の定数を20名から19名とする改正をしました。



議会運営委員会

2月5日

議会改選後における議員定数が12名となることによる常任委員会の数・名称・定数及び関係する条例の改正等について協議をしました。

3月2日

第1回定例会で審議する議案や意見書の取扱いなど議会運営について協議し、会期を7日間としました。

総務常任委員会

2月26・27日

第1回定例会に提案される一般会計の補正予算、条例関係、新年度予算などについて説明を

受け、内容を審議しました。

3月26日

第1回臨時会に提案される一般会計補正予算について説明を受け、内容を審議しました。

民生文教常任委員会

2月21日

第1回定例会に提案される一般会計、介護保険特別会計の補正予算、条例関係、新年度予算などについて説明を受け、内容を審議しました。

3月26日

第1回臨時会に提案される一般会計他3特別会計の補正予算及び条例改正について説明を受け、内容を審議しました。

産業建設常任委員会

2月19日

第1回定例会に提案される一般会計の他2特別会計の補正予算、条例関係、新年度予算などについて説明を受け、内容を審議しました。

3月26日

第1回臨時会に提案される一般会計の補正予算、条例改正について説明を受け、内容を審議しました。

議 事 日 程

7日	鷹栖消防出初式	1月
10日	鷹栖町「はたちのつどい」	
19日	鷹栖町老人大学新年交礼会	
	農畜産物関税撤廃阻止緊急上	
	川総決起大会	
	(旭川市)	
2月		
5日	議会運営委員会	
9日	上川中央部市・町議会議長定例会議	
	(東神楽町)	
10日	たかす山幼稚園園舎落成記念式典	
13日	議員協議会	
	市町村合併調査特別委員会	
15日	委員長等会議	
19日	産業建設常任委員会	
21日	民生文教常任委員会	
22日	鷹栖町森林組合通常総会	
23日	上川町村議会議長会定期総会	
	(旭川市)	
26・27日	鷹栖町農民連盟定期総会	
	総務常任委員会	
3月		
1日	鷹栖高等学校卒業証書授与式	
2日	議会運営委員会	
4日	第24回たかす歩くスキーフェスティバル	
8・13日	第1回鷹栖町議会定例会	
15日	鷹栖町老人大学卒業・終了証書授与式	
16日	自衛隊入隊者激励会	
26日	産業建設常任委員会	
	民生文教常任委員会	
	総務常任委員会	
30日	第1回鷹栖町議会臨時会	

いっぱんしつもん

こんなことを聞きました

問

学校給食費未納の解決方法は

答

分割納入など

実情に応じて対応する

近藤義紀 議員

質問

全国的に学校給食費の未納が問題となっています。

経済的に困っているなどの事情もあるのですが、給食費を払えるのに、督促されてもおうとしない家庭が少なくないのだといえます。

学校給食の目的は、食事を子ども達に食べさせることだけではなく、準備や後片付けの作業を子ども達が分担することで協調性を身に付けることもあり、食を通じた教育活動の一環とし

て給食をとらえて親の理解を得ていくことも、学校と教育委員会が果たす重要な役割だと考えを伺います。

学校給食法では、施設整備費や人件費以外の食料費等は保護者が負担すると定めています。

本町の小中学校における給食費未納の実態と徴収対策について伺います。

徴収方法については、学校で集金する方法も考える必要があると思いますが、教育長の考えを伺います。

近藤義紀 議員

- ・学校給食費未納の解決方法は
 - ・農工団地の施工は
- 植西辰義 議員
- ・広報誌の紙面作りについて
- 青野 敏 議員
- ・定住促進対策は
- 舘山幸男 議員
- ・若者向け公営住宅の建設は
 - ・サンホールはびねすに一つは熱いお風呂を

答弁 教育長

学校給食費の未納は、平成19年2月末現在で28万4千円、世帯数で3戸です。

その理由は、支払う力がありながら支払わないという保護者のモラルの低下ではありません。プライベートに関わる問題もあるため詳細はお話できませんが、滞納3件のうち1件は、他の債権請求による法律的な整理がなされており、すでに町外へ転出されているため、徴収が極めて難しい状況となっていますが、徴収努力は続けていきたいと考えています。



たくさん食べよう！

他の2件についても、経済的要因で一括納入が難しい状態ですので、分割納入計画書を提出していただき、計画的な納入をお願いし、実情に応じた対応をしていきます。

学校給食費の徴収方法については、昭和41年に給食を開始して以来、学校給食センターでの共同調理方式を採用していることや、学校給食費も行政サービスの対価徴収であるため「公金である」という考え方から、従来どおり行政が徴収することを継続していきたいと考えています。

問

農工団地の施工は

答

企業の設備投資の 動向に注視

質問

農工団地の施工について、町長は公社の理事会で、積極的に取り組んでいるが、全国調査の結果、あまり思わしくないとしながら、平成16年度に測量調査を行い、もし進出企業があれば、できるだけ早い対応ができるように準備すると答えました。

地域の人の思いが1日でも早く実現されるよう願っていますが、町の取り組みはどのようなになっているのか。町長の前向きな考えを伺います。

答弁 町長

町が「農村地域工業等導入促進法」によって造成した農工団地については、平成19年3月1日に完了しました。

次期計画については、景気や企業の設備投資の動向に注視しながら、情報の収集をしています。

首都圏や名古屋圏では大変景気が好調だという情報もありますが、北海道、とりわけ旭川を中心とした道北地方は、設備投資の動向もまだ見えてこない状況です。

しかし、自立したまちづくり

問

広報誌の紙面作りについて

答

町民の目線に立った紙面を検討

質問

町の広報誌は、地域住民にとって貴重なコミュニケーション・ツールとしての役割を果たしています。

協働のまちづくりをさらに推進する目的のために、広報誌の紙面作りについて提案します。

紙面の一部を町民の手による紙面として、公益性が高く、行政と利害関係の少ない団体などに、企画・取材・執筆・編集の作業を委託してはいかがでしょうか。

また、財源確保の一環として、有料広告の枠を設けて、町内外

を進めていくため、町の活性化や自主財源を確保するということから考えると大変重要なこと

ですので、企業誘致の取り組みについては、これからも努力していきたいと考えています。

植西辰義 議員

植西辰義 議員

を問わず広く

募集すること
も一つの方法
です。

広告料の収入
自体は大きい
額にはなら
ないと思いま
すが、町も財

源確保に一生
懸命取り組ん
でいる姿勢を
町民に示すこ
とになると思
います。

町長の考え
を伺います。

町長の考え
を伺います。



広報たかす

答弁 町長

「広報たかす」は、町民の皆さんと町をつなぐ大変重要なアイテムであり、町の現状や課題をできるだけ多くの皆さんに知っていたくために、分かりやすく、身近なものや交流の場のイメージを持ちながら広報の編集に取り組んでいます。

広報紙面の一部を、企画から編集まで公益性の高いグループ等に任せることについていろいろな方法を考えてみました。

例えば、ボランティア活動やごみの減量化、子育て環境など、

テーマをしぼって広報紙面を預けて、町民の目線でいろいろな意見をいただくことは効果的だと思っておりますし、さらに、町民同士が広報を通じていろいろと意見交換できる場になれば、すばらしいことだと考えています。

それらを踏まえ、提案いただいた内容をもう少し煮詰めて、引き受けていただけそうな団体やグループとも相談しながら工

夫していききたいと考えています。

紙面に有料広告を、との提案については、企業が自主的に広報を使ってPRしたいのであれば、前向きに考えていきたいと思っておりますが、大都市と違って、広告主になっていただけるところが少ないので、現実的かどうかの希望があるのか団体等を調査し、今後検討していきたいと考えています。

問

定住促進対策は

答

民間活力を支援する

青野 敏 議員

質問

本町の人口推移は、平成7年6月の住民基本台帳人口を最低として、近年の宅地造成及び公営住宅などの住環境整備により、現在7,627人と増加しています。

これは、本町の自然環境・住環境整備をはじめとするまちづくり全体が評価された結果だと感じています。

中でも、平成17年に完成した

シンフォニー団地では、平成19年1月末現在、全292区画のうち175世帯、522人の人達がすでに住宅を建設し、暮らしています。

また、公営住宅でも入居希望者が非常に多く、全8団地・290戸がほぼ満室の状態、常時20〜30人の待機者がいると伺っています。

公営住宅への入居希望者は、何らかの事情で早い段階での入

居を希望していると考えられますし、これだけ多くの希望者がいるわけですから、思いきって公営住宅を建設してはどうでしょうか。

また、現在の公営住宅への入居申込資格は、町内の在住者、あるいは町内企業に勤務している方に限られています。町外からの入居希望者も多いと聞いています。このような人達にも申し込みができるような制度を取り入れる事についてはいかがでしょうか。

また、平成18年第2回定例会で、町内の空家情報や賃貸・売却などの紹介を「カムイミンタラの伝道師」や町のホームペー

答弁 町長

近年整備したフォレストタウンやハーモニー団地はほぼ完売状態で、シンフォニー団地についても、現在292区画のうち251区画が予約や契約をいただき、大変好調な売行きです。

公営住宅や単身者住宅などもほぼ満室状態で、公営住宅の入居待機者は現在15世帯ですが、

時期的に25世帯程に増えることもあります。

人口も昭和58年以来7,600人台に回復し、自立したまちづくりを進めていく上で、人口を増やしていくことは大変重要な課題ですので、今後の宅地開発や公営住宅のあり方を19年度で検討していきたいと考えています。

平成19年度の新規事業の中で、民間の知恵と力を活かし、新しい手法も取り入れ、賃貸住宅の建設に対する支援に取り組んでいきたいと考えています。また、町外の人達にも公営住宅への入居を受け入れることができるか



民間の賃貸住宅

を検討していく必要があると思っ
ています。

空家の再利用については、現
在ホームページ全体の再検討を
行っていますので、空家情報も
入れてお知らせしていきたいと

考えています。

また、町の紹介については、
現在すでにカムイミインタラから
鷹栖にリンクできるようなっ
ていますので、今後もできるだ
けの情報提供をしていきます。

問

若者向け公営住宅の建設は

答

民間賃貸住宅建設支援制度
実現に向けて

館山幸男 議員

質問

少子高齢化の時代にあつて、
鷹栖町の子どもの数は増加して
います。その要因は、鷹栖地区
や北野地区の住宅開発だと思わ
れます。

若者に鷹栖町に住んでいただ
き、まちづくりへ参画してい
たく。これが町長の言う「たく
ましさ」と活力のあるまちづく
り」「ふれあいと安心のまちづ
くり」につながると思います。

鷹栖町は旭川市の日常生活圏
にあります。公共施設が整備さ
れ、静かで、衛生的で、人情味
のある鷹栖町に住んでいただけ
れば、第二のふるさとになる、

と確信しています。

これからのまちづくりに、若
者の定住は欠くことのできない
大きな課題です。早急に若者向
け公営住宅建設を現実してい
てほしいと考えています。

答弁 町長

公営住宅に入居されている小
学生以下の子どもがいる世帯は
89世帯で、公営住宅入居全体の
31%となっています。

3月1日現在、0歳から14歳
までの子どもの数は町の総人口
の14・4%、全国平均と比べて
1%程高いと考えています。

特に、ハーモニー団地・シン
フォニー団地では、子どもの割

合が高くなっています。

若い世帯が本町に転居してき
ている理由は、他の市や町の住
宅団地と比べて大変地価が安く
利便性が高いことや、子育て環
境に恵まれているからだと思っ
ています。

公営住宅は、入居待機者が常
時15〜25世帯程います。これを
解消するためにも、平成19年度
中に民間の賃貸住宅建設の支援
制度の実現に向けて取り組んで
いきたいと考えています。

問

サンホールはびねすに
一つは熱いお風呂を

答

適温と考えている

質問

平成11年に誕生した「サンホー
ルはびねす」のお風呂は、洋風
と和風の2種類あり、それぞれ
二つずつ浴槽がありますが、温
度が2〜3℃違う浴槽にできな
いものでしょうか。

また、利用者からのお風呂に
ついての意見をどのように把握
しているのか伺います。

答弁 町長

サンホールはびねすの浴槽温
度は、大浴槽が40・5℃、小浴
槽が41・5℃と、1℃違いにし
ています。

以前は小浴槽を42℃まで上げ
ていましたが、熱いとの苦情が
多く、0.5℃下げたという報告を
受けています。現在はそのよう
な苦情はないようです。

また、利用者からの意見につ
いては、保健福祉課や管理委託
会社により適切な対応をしてお
り、お風呂だけではなく利用全
体についても、いろいろな機会
にお話を伺いながら対応してい
ます。



はびねすのお風呂（洋風）

身の丈にあった・みんなで頑張る 協働のまちづくりの確立

—町長・教育長の執行方針に対する質疑—

質問

パレットヒルズに造成予定のパークゴルフ場の関係ですが、鷹栖と北野にあるパークゴルフ場については利用者が減っていると聞いていますし、他町でも客が少なく赤字の所もあると伺っています。

もう1カ所パークゴルフ場ができることで利用者の取り合いにならないか、また、経営状況により、管理費が軽減できると考えているのか伺います。

答弁 町長

いろいろなと見てきた結果、丸山と一部のパークゴルフ場は盛況ですが、近隣のパークゴルフ場の状況はあまり良くありません。その理由としては、狭い・危ない・景観が良くない・交通の便が悪いといったことがあると思います。

パレットヒルズは旭川とも近く、景観も大変良いので、利用客は期待できると考えています。二つのパークゴルフ場がそれぞれの個性を活かしながら利用促進に努めていきたいと考えています。

質問

「基幹産業である農業」について、国は担い手に対しての施策を重点に置いていきます。

その中で、町内の小規模農家をどのような方向に進めようとしているのか。

小さいながらも米づくりや野菜づくりに一生懸命取り組んでいる農業者もいます。今後の農業振興について考えを伺います。

答弁 町長

大規模農家や担い手農家だけで地域が形成でき、農業を担っていくとは考えていません。小規模農家も地域・農業の担い手であると考えています。

「中山間直接支払制度」や、平成19年度からの「農地・水・環境保全向上対策事業」などにも一緒に参加していただくことが大事だと思っています。

農地を賃貸や売買しても、もともとの土地所有者が耕作に関



パレットヒルズから見た鷹栖町

われる仕組みも、今後検討していこうと考えています。

質問

3人目の保育料を無料にすることについて、同一世帯から保育所に3人通っている家庭は少なく、小中学生を抱えながら3・4人目が保育所に通っている家庭が多いと思います。

町長は日頃「子どもを産み、育てやすい環境づくり」と言っています。小中学生がいても同一世帯で3人目以降の子どもに関しては無料にする考え方が特色のあるまちづくりにつながると思いますので、町長の考えを伺います。

答弁 町長

町は、国の基準の65%程度の

保育料で行っていますので、3人目の無料化だけではないことを理解していただきたい。

ただ、子どもの数を増やしていくために、今後もしろいろと工夫が必要ですし、考えていかなくてはならないと思っていますので、小中学生がいても3人目以降の子どもを無料にしておくことも、今後検討していく必要があると考えています。

国の子育て支援施策を見極めながら、子育て環境を地域としてどう作りあげていくかということが大変重要だと認識しています。

質問

「お年寄りの生きがいづくりの場」について、高齢者が増えている中で、高齢者事業団の仕方の問題もありますが、働けるうちは体を動かしているほうが、お年寄りの健康維持につながると思っていますので、町長の考えを伺います。

答弁 町長

これからの長寿社会に向かって、体の動く限り働きたいという方は増えると思っています。

町からの事業団に対する仕事のお願いや支援も、できる範囲で増やしていきたいと考えています。

役場の庁舎管理や清掃等も事業団にお願いしていますし、農作業などの委託も年々増えてきているようです。

これからも、お年寄りの持っている技能を活かしていただき、まちづくりに参加していただく考え方に変わりありません。

質問

「公共施設の管理運営のあり方」について、北斗小学校の跡地利用は、未だ方向がはっきりしていません。

管理は教育委員会から町に移ったと聞いていますが、今後の方向性は。

答弁 町長

北斗小学校の跡地は、北斗地域の振興に役立ち、地域として関わられるようなものにするという基本的な考え方ではありますが、どうしても無理であれば、民間参入等も含めて検討する考えです。

どの程度工夫できるか、地域

と町とで議論しながら、早い時期に方向を出したいと思っています。



旧北斗小学校

質問

「さらなる定住者の確保」とありますが、具体的な内容について伺います。

また、民間アパートの建設についてもお聞きします。

答弁 町長

公営住宅の問題と住宅政策については、現在15世帯程が待機している状況ですし、また、町外からの問い合わせも年間30件

程あると報告を受けています。

今後、その人達にどうやって鷹栖町に住んでいただくかも含めて、1年間かけて検討していきたいと思っています。

平成19年度には、定住促進住宅建設助成事業として、民間の知恵と力をお借りしてアパートを建てていただき、そこに町が支援して、入居しやすい状況をつくっていく考えです。

質問

鷹栖町農業振興公社の農産加工場から排出される産業廃棄物の処理方法について伺います。

また、「鷹栖町廃棄物の処理及び清掃に関する条例」で、「町長は、本町において生ずる産業廃棄物が適正な処理が行われるよう事業者に対して指導監督に努めなければならない。」とありますが、町長が農業振興公社の社長の場合、適正な指導監督ができるのか伺います。

答弁 町長

町長は農業振興公社の社長を兼ねていますが、全く別のもので、町長として公社に運営・指導監督を行います。

産業廃棄物については、排出企業が責任を持って処理することになりありません。

質問

公民館のあり方については、各、各地区にある公民館を全部同時に指定管理者制度へ移行する予定なのか伺います。

また、中央・北斗・北成の公民館については、地域住民が少なく、指定管理者制度を受けても支えていくことができるのか。契約条件にもよると思いますが、考え方を伺います。



北野地区公民館

答弁 教育長

公民館の考え方については、「地域の城」という考え方を基本に、地区公民館それぞれが独自の活動をしてきた経過があります。

地域ごとにいろいろな考え方があると思いますので、十分話し合ってから方法や方向を決めていただきますと思っています。指定管理者制度は全館一斉とは考えていませんし、選択肢の一つであると思っています。

質問

学校給食については、地元でできた野菜やお米を子ども達に食べてもらい、味を知ってもらい、また、食育についても実践していくことが大事なことです。平成19年度はどの程度地場産食材を取り入れていく考えなのか伺います。

答弁 教育長

地場産の野菜を平成18年度から農業者の協力で学校給食に取り入れてきています。

子ども達に対して「今回は誰々さんが作った野菜です」など、

生産者を顔写真付きで保護者や子ども達に紹介していますし、学校の中にもポスターを貼ってPRに努めています。

平成19年度から鷹栖小学校に栄養教諭が配置される予定ですので、この先生を中心に子ども達の食育指導をしていきたいと思っています。

あわせて、家庭に対しての食生活指導についても、学校を経由しながら努力していきたいと考えています。

質問

「多くの方々の主体的参加や関係機関・団体の連携により、次代のふるさとを築く子ども達の育成をはじめ、教育・文化・スポーツ活動を積極的に推進」とあります。

色々な場面で、地域の皆さんの力を借りながら事業を推進することが大変重要だと思います。

過去に「人材銀行」という組織があり、様々な町民の方がスポーツや文化などで学校教育に関わっていました。そういった人達の情報交換の場が少なく、他にどういった人達が関わっているのか分からない状況でした。

できれば、年に数回程度集まっても良いと思います。

児童生徒を指導するときに、統一した考え方、認識を持って学校教育に地域住民が関わっていくことが大事だと考えます。

ぜひ、情報交換の場を設定していただきたいと思いますが、考え方を伺います。

答弁 教育長

スキー授業は昔と少し違い、スキーを教えられる先生が少なくなっていて、スキー連盟の皆さんに協力をお願いします。

人材登録事業は、学校の授業というより、少年団活動や文化活動といった、社会教育の中でお手伝いいただいている方を登録して行っています。

学校の授業の支援をしている方と、社会教育事業の支援をしていただいている方とは、役割が異なりますが、「子ども達と接するために、どういうふうに関わり合えば良いのか」といった情報交換の場の設定については、「地域の教育力」を高める観点からも重要だと思っておりますので、前向きに検討していきたいと思っています。

地方分権を見据えた 思いきった改革・新たな仕組みの構築を

平成19年度予算総額 80億7,788万3千円を可決

新年度予算について、3月9日に提案説明があり、12日・13日に議員全員による予算審査特別委員会を設置し、予算計上されている事業などについての質疑を経て、原案のとおり可決しました。

〈総務費関係〉

質問

庁舎内のパソコンを全てバージョンアップするということが、町独自で開発したソフトも入れ替える内容なのか伺います。

答弁

予算は1,222万6千円を計上しています。今のOSや独

自開発システムについても入れ替えをし、100台程度更新を考えられています。

質問

より一層の行財政改革に取り組んでいくとありますが、平成19年度はどのような削減予算を組んだのか伺います。

答弁

町全体の削減については、物件費・委託料等で5%削減目標を定めており、人件費については、選挙の投開票事務の手当てが含まれているため若干増額となっておりますが、それを差し引くと昨年同様の予算計上になっています。

質問

需用費の中の消耗品は、各課でそれぞれ予算計上されており、合計すると3,500万円程になります。

例えば、ボールペンを一括購入・管理すれば、まとめ買いによる入札ができる物もでてくる

と思いますが、そういったコスト削減を考えていけないものか伺います。

答弁

各課に計上している消耗品の予算については、各事業の事務のための消耗品であり、一般的な消耗品については、現在総務課で一括して購入・管理をしています。注・入札はしていませんので、今後検討しながら取り進めたいと思っています。

〈企画費関係〉

質問

パレットヒルズに造成するパークゴルフ場については、レイアウト図面では、トイレや受付用のハウスといった設備は載っていません。

また、芝の管理のための水源をどのような方法で確保するのか。

年次計画があれば伺います。



パークゴルフコース予定地

答弁

施設については、仮設で設置して、利用人数の増加に伴って整備していきたいと考えています。

水源については、現在の沢を利用して、調整池も含めて考えています。

質問

(株)バイオアグリたかすと賃貸契約を結んで10年になります。

町の産業振興が目的で実施したと思われませんが、どのような成果があったのか。

答弁

平成9年10月30日に1,81

5㎡の敷地を10年間無料で貸し付けました。

平成19年10月29日で契約が切れますので、今後については相談をすることになっていきます。

地域の産業振興における効果については、カバノアナタケ茶などの製品開発をはじめ、昨年は国の新事業全国展開支援事業として、地元の原材料を使用したゼリーを作って全国でPRするなど、町にとっては効果があつたと考えています。

〈民生費関係〉

質問

現在、水道・下水道使用料については、高齢者や障害者に助成しています。

今回、30万円程の予算増になっていますが、範囲を拡大したのか伺います。

答弁

母子家庭で5世帯、高齢者世帯で10世帯、通園世帯で2世帯、グループホームで1世帯の増加を見込んでの予算計上ですので、範囲の拡大ではありません。

質問

鷹栖保育園改築工事の設計委託料に1,560万円計上していますが、本体事業の内容について伺います。

答弁

基本的には、現在の場所のスペースを活用しながらコストを少なくしようと考えています。ブロック造部分の取り壊し、また、遊戯室については耐震調査をした上で今後について考えていきます。

「保育環境のあり方検討委員会」から、一時保育や病後児保育の実施や、子育てセンターの併設といった要望についても報告を受けましたので、それも含めて進めていきたいと考えています。

〈衛生費関係〉

質問

ごみの減量化について町民の協力を求めている中で、旭川市に支払う焼却処理委託料は前年に比べて減っています。

ごみの減量化に向けた懇談会を開催していますが、どういった活動をしているのか伺います。

答弁

旭川市では、委託単価を計算する場合、前々年度の決算をもとに総原価より計算しています。

最近では、市も経費節減を図っていることにより、費用単価は下がってきているのですが、ごみの減量化については目標を達成していません。

可燃ごみの1人あたりの排出量は、過去と比較すると、年々少しずつ増加しています。

減量化懇談会で議論を重ねていますが、ごみの抑制は難しい問題です。

処理費用を少しでも安くするためには、リサイクルが一番良い方法ですので、減量については懇談会で熱心に検討しています。



〈農林費関係〉

質問

「四季の里」の農産加工機械の清掃業務を10年目にして初めて行う予定ですが、その内容と今後の計画について伺います。

答弁

利用水の排水残渣が溜まっているのを、今回初めて除去します。

今後は、2年ないし3年の計画で行いたいと考えています。

質問

「農地・水・環境保全向上対策事業」について、「中山間直



すばらしい田園風景

接支払制度」との関わり方や、農地を貸与している非農家の方、もこの事業に参画できるのか。

答弁

「中山間直接支払制度」は、地域農業推進会議が主体となり実施しています。

「農地・水・環境保全向上対策事業」については、農業推進会議の連合区単位の5支部ごとに取り組みます。

非農家の方の参画については、農地の所有に関わらず、非農家の組織の同意をいただいで総会で決定する予定です。

「農地・水…」の事業は、主に農地保全のための用水路・農道などの施設整備や維持管理の事業が主体になり、「中山間…」の事業は、農地調整から土地利用と範囲が広い事業です。

二つの事業内容をきちんと分けて実行していきたいと考えています。

〈土木費関係〉

質問

道路新設改良費の中に「支障

物件移転補償費」が計上されていますが、この内容について伺います。

答弁

町道11線道路交付金事業及び町道8線道路交付金事業の工事施工に伴う支障物件（建物・庭木・畦畔）等の移転にかかる補償費となっています。

〈教育費関係〉

質問

先日の鷹栖小学校のスクールバンド演奏会は大変素晴らしいものでした。ただ、残念だったのは、一部の生徒が古い楽器を使っていました。

スクールバンドは、音が一つでも狂うと全体の和がなくなってしまうし、仲間づくりは教育の一環でもあると思いますので、小中学校の備品購入費で購入できないか伺います。

答弁

小中学校の吹奏楽部の備品については、教育推進費の中で35万円計上しています。

小中学校とも、担当の先生と十分打ち合わせをして、必要な物を計画的に購入しています。

〈下水道特別会計〉

質問

実施設計委託費で1,513万円計上していますが、この地区でこういった内容なのか伺います。

答弁

事業再評価と中継ポンプ場耐震調査・増設設計について委託します。

事業再評価については、10年に1回、国土交通省へ経済効果について報告しなくてはなりません。

中継ポンプ場については、現在ポンプは2台設置されていますが、旭川市からの汚水量が増えてきているためポンプを増設します。また、それに伴うポンプ場の耐震調査を行います。



鷹栖町に移り住んで

大橋 清
(成和町内会)



私は神奈川県横浜市に43年間住んでいました。
 いつかは「北海道の環境が良くて広い所で暮らしたい」と希望していました。
 この地（北成地区）は、インターネットで探しました。
 まず、自分ひとりで現地を見に来たのですが、周囲の環境の良さに一目で気に入
 り、ここに決めて帰りました。そして、平成17年6月下旬に妻と移住してきました。
 入居して数日経った頃に、とれたての野菜をたくさんいただいたりと、地域の方
 々にはとても暖かく迎えていただきました。
 自然いっぱいの中、そして、皆さんに支えていただきながら、感謝して暮らさせ
 ていただいています。
 道路はいつも整備（除雪）されていて、安心して通行できます。
 近くには、広くてきれいな丸山パークゴルフ場があり、プレーを楽しんでいます。
 冬は、近くの「歩くスキーコース」（セントゴルフ場）へ行って、健康づくりの
 ために歩いています。白一色の中、ウサギになったようで気分爽快です。



穏やかな風と共に新しい息吹の力強さと成長
 を肌で感じる季節を迎えました。

„みんなの議会“126号をお届け致します。

今定例会では、4名による一般質問、平成19
 年度の町政・教育行政の執行方針報告を受け、
 質疑を行いました。また、平成19年度各会計の
 事業及び予算などについて審議・議決しました。
 国の構造改革により、地方自治体を取り巻く
 環境は、道州制特区・市町村合併問題及び新型
 交付税など先行き不透明な状況であります。が、
 行政・住民・議会が一丸となって元気なたかす
 づくりに取り組むことが大事です。

今号は、議会報特別委員として最後の編集と
 なりました。今までご愛読くださった町民の皆
 さまに心から感謝申し上げますとともに、4年間
 誌面作成にご協力下さ
 いましたみなさまにも
 感謝いたします。

最後に、わたしの一
 言にご寄稿くださいま
 した

大橋 清 さん
 ありがとうございます
 た。

編集委員一同

